

次の文章は、デザインジャーナリスト白田捷治がブックデザイナー―祖父江慎について書いたものである。これを読み、後の問いに答えなさい。答えはすべて解答用紙に記入すること。

枠内については、許諾の都合により、文章と問題の掲載を省略します。

枠内については、許諾の都合により、文章と問題の掲載を省略します。

問一 本文中に祖父江のデザインした本ではない書名が二冊記されている。そのタイトルを二つとも上げなさい。

問二 傍線部②「意想外のたのしさに含まれないものを本文中の次の文の中から一つ選び、番号を記入しなさい。」

- (1) 書物を手にしたときの触感や紙がそなえる独特のにおい
- (2) ふたつの異なる本文組が交互に入れ替わる
- (3) 見返しの次にいきなり小説の鍵を握る詩とプロローグの文章が五ページにわたって割って入ってくる
- (4) 表紙と見返しの内側という、見えない部分への文字印刷

問三 傍線部①「三次元の物性」とあるが、これまでの社会経験の中から感銘を受けたことを例にあげ、それに対するあなたの考えを本文の意図を踏まえつつ述べなさい。全体の文字数は五百字以内とすること。

下書き用

たて書き↓

5
10
15
20

500 400 300 200 100

問一

スイン

ヘンリ・ライクロフトの私記

問二

(1)

問三

たて書き↓

採点のポイント	5	10	15	20
1 概ね起承転結の文章構成になっているか				
2 正確でわかりやすい文章か				
3 伝えたい趣旨は明確か				
4 受験生が、社会に出てからの実際の生活の中で見聞きしたり体験したことで感銘を受けたことが具体例にあげられ、本文を踏まえ説明、考察されているか。				
5 文章量は適切か				
6 誤字脱字はないか				

500 400 300 200 100

受験番号	番
------	---

合計	問三	問二	問一
* 100	* 80	* 10	* 10

*には記入しないこと